

塩竈神社鳥居建立記念誌


塩竈神社


塩竈神社



目次

新鳥居全景(奉告祭参列者集合写真)	1
額東全景	2
新聞掲載記事	3
謝辞	4
奉納者挨拶(鳥居寄贈に寄せて)	6
株式会社肥後産業会長	肥後 忍様
塩竈神社宮司	宮田 一男
鹿児島県神社庁鹿児島支部支部長	山下 丈夫様
建部神社宮司	山下 丈夫
神社関係代表挨拶	7
新屋敷東町内会会長	増田 敏男
責任役員挨拶	8
堀切税理士事務所所長	堀切 潤一郎
山下司法書士事務所所長	山下 政廣
塩竈会会長挨拶	10
(株)カワノ建材社長	川野 友三
船魂会会長挨拶	11
(株)積善社社長	川田代 泰和
鳥居建立工事安全祭	12
鳥居建立工事代表挨拶	13
吉留建設(株)代表	岩崎 敏郎様
鳥居建立工事施工図面	14
秋季例祭・鳥居建立奉告祭	16
鳥居建立祝賀会	17
ご奉納者	18

御寄贈 株式会社肥後産業殿



（平成二十七年八月十九日建立 同年十月十七日報告祭）

額東御寄贈

株式会社 肥後産業

船魂神社鳥居額東（十月一日設置）

船魂神社

筆耕 萩原 常一 先生

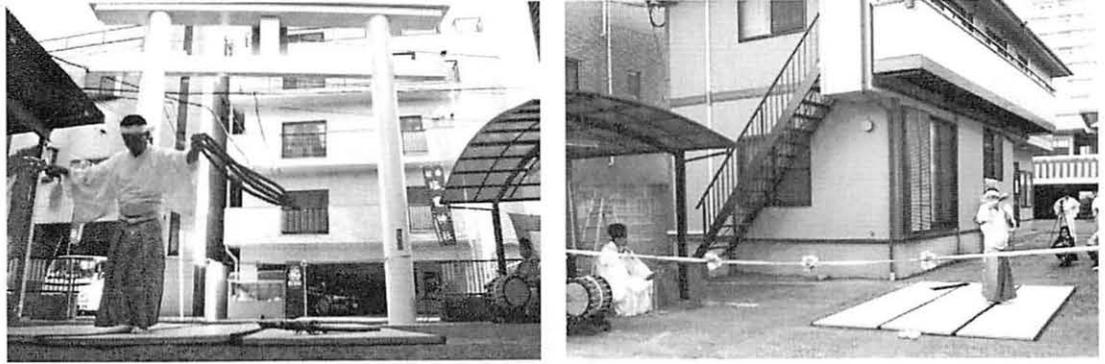


塩竈神社鳥居額東（十月十四日設置）

塩竈神社

筆耕 新留 孝志 先生





新鳥居前にて剣舞奉納

南日本新聞掲載 平成27年10月26日付

塩竈神社の鳥居を新調

40人完成祝う

鹿児島市新屋敷町にある塩竈神社の鳥居が新調され、17日、建立を祝う奉告祭が行われた。写真。地域住民ら約40人が参加し、雅楽

や舞などで完成を祝った。

神社は1628年に第18代藩主島津家久によって建てられ、地域に親しまれてきた。老朽化に伴い2002年に解体工事を行い、本殿と社務所が新設されたが、金銭的な問題で鳥居は建てられていなかった。

今年、肥後産業の肥後忍会長(66)が鳥居を寄贈し、8月19日、13年ぶりに鳥居が神社に

建立された。

奉告祭では、雅楽に合わせて鹿児島神社の



山下剛宮司が祝いの舞を披露、テープカットが行われた。塩竈神社の宮田一男宮司(65)は「塩竈神社は、400年近く地域に根ざしている。新しい鳥居が地域のよりどころとなれば、ありがたい」と話した。(児玉裕子)

読売新聞掲載 平成27年10月18日付

塩竈神社 鳥居の復活祝う

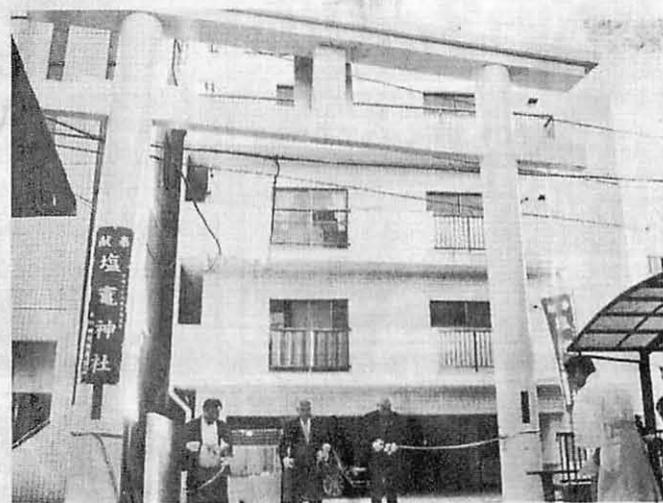
鹿児島で「建立奉告祭」

島津家久が1628年(寛永5年)に建立したと

される鹿児島市新屋敷町の塩竈神社(宮田一男宮司)に高さ約7.5メートル、幅約4.5メートルの鳥居(鉄筋コンクリート製)が再建され、17日、完成を祝う「建立奉告祭」が開かれた。

塩竈神社には2002年まで高さ約2.5メートル、幅約1.5メートルの小さな木造の鳥居があったが、本殿改築の際に取り壊された。以来、鳥居のない状態が続いていた。宮田宮司が宮司を兼ねる近くの船魂神社の氏子で、同市の運送会社社長肥後忍さん(66)が新しい鳥居の寄贈を申し出た。

建立奉告祭には、神社関係者や町内会長、肥後さんから約40人が参列。神事に続いて、剣の舞で完成を祝った。宮田宮司は「この鳥居を継承し、地域の鎮守の象徴としていきたい」と話していた。



再建された塩竈神社の鳥居

謝 辞



話させていただきます。

奇しくも本日は伊勢の神宮に於きまして今年一年の収穫を祝う神嘗祭が肅々と斎行されました。

本日は兼務社であります当塩竈神社秋季祭に併せまして、鳥居建立報告祭また祝賀会のご案内を致しました処、ご多忙中にも関わらず多数のご参列ご出席を賜りました事、篤く御礼申し上げます。

この度、念願で御座いました鳥居が建立致しました経緯につきまして、少しお時間を頂戴致しましてお

第六十二回式年遷宮記念事業として、株式会社肥後産業の肥後忍会長より、「船魂神社に鳥居を寄贈したい」とのお話を戴きました。船魂神社の鳥居は、当時新屋敷町に在住しておられた故宅間豊彦氏より昭和二年にご奉納頂き、約九十年近くにわたり、現在に至っております。であるなら、私どもが兼務社としてお務めしている塩竈神社へ寄贈戴くのはどうか、とご提案致しました。

今年のお正月、毎年恒例である年始の安全祈願に社員を引き連れ船魂神社へ詣でた際、早速会長ご夫妻、ご子息の貴哉社長が塩竈神社へ参拝方々ご視察賜り、即刻ご決断なされたよう御座います。



塩竈神社旧社殿と今は無き木造の鳥居（平成14年2月1日撮影）

以前は塩竈神社も木造の鳥居が社殿前に建立されておりました。皆さまご承知の通り、老朽化に伴い平成十四年、本殿並びに社務所の大規模な御造営・改修を執り行いましたが、鳥居なしの状態でした。この度の鳥

居建立のお話しを戴き、神社役員をはじめ、氏子さん方にお話ししました処、大変に喜ばれたの言うまでもありません。

その後、役員会を開催。宮城県塩竈市に鎮座しておりますが、陸奥国の一之宮として崇敬され、全国塩竈の総本社と仰ぐ鹽竈神社の鳥居などを参考に、その様式や配置の選定、地盤調査を踏まえ七月の基礎工事に移りました。肥後会長のご指名により、県内屈指の業者である吉留建設岩崎社長様に施工をご依頼。特殊な建造物だけに、県内には鳥居を設計する業者がおらず大変苦慮なされたよう、奈良県の専門業者に発注、陸路にて鹿児島まで運搬なされたよう御座います。

また某設計士による、いわゆる耐

塩竈神社宮司

宮田 一男

震強度偽装問題のあった二〇〇五年以降、市も厳密に対応せざる負えなくなつたようで、岩崎社長が何度も掛け合い、ひとつひとつクリアしていったとお聞きしております。

そのような理由から工期日程がずれ込むものの、よいよ鳥居建立となる八月十九日。前夜は激しい雨でしたが、その日の朝は嘘のように晴れ渡り、午前九時、日差し刺す陽気の中、恙無く安全祭を終え、工事に移りました。まずは狭い路地から大型車で現場となる当社境内まで運搬を行い、お清めした「鎮め物」を深さ2mはある基礎部分に納め、二本の柱を設置。さらに、鳥居上部の「貫」と「島木」をクレーン車で釣り上げ、組み立てるなど大掛かりな作業ではありましたが、手際良い匠の業により、見事、鳥居建立を成し得た次第で御座います。

時節柄、梅雨の時期と重なり、基礎工事では土砂降りの中での大変な作業もあつたようです。

そして高さ約7M、幅四・五Mの威

風堂々たる明神構えの鳥居をお迎える事が出来ました事は、御祭神である塩樋翁の命様もさぞお喜びになられた事でしょう。

この間、鳥居に掲げる「額束」に關しましても、「どうせならあつた方が良からう」との肥後会長の一言で、船魂・塩竈の両社に対し、それぞれ寄贈戴く事となりました。額面社名の下書きにつきましては、船魂は萩原常二先生、塩竈は新留孝志先生にご依頼。書界の重鎮としてご活躍なさつておられるお二方にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

併せまして、塩屋学舎石碑につきまして、鹿児島市の協力を仰ぎ、ながら橋通り沿いに標識を設置いただくよう現在奔走しておる処です。また別紙にてご案内致しております通り、今回の鳥居建立したこの機をとらえ、境内整備事業を計画致しております。手水舎回りの配管工事等のご淨財も募っておりますので、是非ともご協力賜りますれば至極幸いです。

に存じます。

神社は、我々が生命を全うし終えたあともその地域にいぶき、鎮守の杜・心の寄りどころとして、氏子崇敬者をお守りし、春秋の祭り、六月燈といった年間行事を通し子々孫々受け継がれて参ります。

今後はからずとも、この新屋敷地域を中心とした城南校区八町内会、そしてこのがながら橋通りの活性化促進に繋がれば、と願うところで御座います。

本来であればこのような華やかな場所は苦手であるにも関わらず、ご臨席賜りました肥後会長の太っ腹なご決断、有言実行の性格には頭が下がる思いです。改めて肥後忍会長様、貴哉社長様に対し、篤く御礼申し上げます。

これにて最後になりますが、株式会社肥後産業様のさらなるご隆昌とご発展、本日ご出席いただきました氏子・崇敬者、神社関係者各位のみな様方のご多幸をご祈念致しまし

て、簡単では御座いますが、お礼のご挨拶と代えさせ頂きます。本日は誠にありがとうございました。

平成二十七年十月十七日

鳥居建立祝賀会挨拶にて



この度建立頂いた鳥居

奉納者挨拶

鳥居寄贈に寄せて

株式会社 肥後産業会長

肥後 忍様



ら無事に今日を迎える事が出来まし
た。

小さなスタートには、お金も体力
も無いくせに夢をいっぱい積み込み
ました。夢の挑戦史、夢に挑み、幾
多の困難に押しつぶされ、周りの
方々のお力添えを頂き立ち上がり、
また新たな夢に挑戦しその都度逆境
に見舞われました。一企業の問題で
はなく、社会環境の変化は如何とも
しがたく、思わぬ苦境を迎えた時期
もありました。

何の知恵も才覚もない私が、今こ
うして生き延びているのは、なぜだ
ろうと不思議に思う事がありまし
た。目には見えない何かが導いて下
さるのではないのか、神仏のご加護
があるように思えてなりません。

私と船魂神社様との出会いは、
三十数年前になります。新船を建造
した折にお清めのお祭りをして頂き
ました。それ以来毎月一日に当社の
安全祈願祭や、地鎮祭などすべてお
願いいたしております。

お陰様で今日まで、お導き頂き
「百の忍耐と寛容の心」を、学ばせ
て頂きました。

そんな中、ある日のお祭りの後の
雑談から、塩竈神社に鳥居が無いこ
とを知りました。これもお導きの賜
物と、鳥居建立のお手伝いの一端を
背負わせて頂けないものかとご相談
申し上げました。

その後、役員の皆様方からもお許
しを頂いたとの知らせがあり、鳥居
建立が前進することとなりました。

建立工事にあたりましては、前例
の少ない案件ゆえ関係する皆様のお
知恵を拝借し、関係部局の御許可を
頂いたとお聞きいたしました。建立
工事に携われた皆様にも心より御礼
申し上げます。

これを機に、塩竈神社様の益々の
ご隆盛をご祈念申し上げ、地域の皆
様のご健勝とご多幸をお祈り申し上
げます。

塩竈神社様には、鳥居建立誠にお
めどうございます。御縁を頂きま
して、鳥居建立のお手伝いをさせて
頂き、心より御礼申し上げます。

宮司様はじめ、塩竈神社役員の皆
様には、お忙しい中ご指導、ご尽力
を賜り感謝申し上げます。皆様の熱
き想い一つになって堂々とした逞
しい鳥居が建立されました。心より
お慶び申し上げます。

私は、昭和四十七年三月に鹿児島
の地にて商いをさせて頂きました。
小さな、小さなスタートでしたが、
皆様方のお力添えを頂きなが



平成二十七年九月吉日

私は、未だ旅の途中の身にござい
ます。
夢を持ち、希望を持って明日に生
きて参る所存です。
今後とも変わらぬお導きを伏して
お願い申し上げます。

神社関係代表挨拶



只今ご紹介頂きました神社庁鹿児島支部支部長を仰せつかっております山下丈夫と申します。先ずはじめに皆様には神社庁、同じく鹿児島支部の諸活動、特に神宮の大麻頒布に御協力を賜り、まことに有難う御座います。この場を借りまして篤く御礼申し上げます。

ご指名でありますので慎んでお祝いの言葉を述べさせていただきます。さて、明和年間に当時鹿児島稲荷神社祀官であり従五位下藤原朝臣本田親盈という方が編まれた神社誌の中の

塩竈神社のところを見ますと、今から三八七年ほど前、「寛永五年塩屋村のこの所に初めて勧請す」と記されています。その昔より島津家代々の尊宗と、地域の人々の敬い篤き名

高き神社であります。この塩竈神社の新しい鳥居が戦後七十年という節目の年にかくも見事に建立されました事、心からお祝い申し上げます。又、宮田宮司様をはじめ関係者の皆様方のご協力と、鳥居を奉納された

した(株)肥後産業の会長様、社長様に深い敬意を表しますと共に、今後益々塩竈神社が地域の人々に、心のふる里、心のよりどころと親しまれ、加えて県内一一九社の神社、

支部管内九三社のモデルとなるおやしるとして、弥栄に榮えます事と、本日御列席の皆様方の御多幸をお祈り申し上げ、お祝いの御挨拶と致し

鹿児島県神社庁鹿児島支部支部長
建部神社宮司

ます。本日は誠におめでとう御座いました。

平成二十七年十月十七日

鳥居建立祝賀会にて

山下丈夫様

山下宮司様より左記のお品を御贈答賜りました。謹んで御礼申し上げます。



一輪挿



第14代沈壽官作



磁御庭窯 花瓶

責任役員挨拶

塩竈神社鳥居建立によせて

新屋敷東町内会会長



増田 敏雄

て塩を練るをもって業とす（以下略）」と記されているように旧塩屋村（塩屋町）にとつて古い歴史を持つ由緒ある氏神さまであった由であります。

この度、塩竈神社におかれましては氏子崇敬者でありますところの肥後産業様のご寄進により念願の鳥居が立派に建立されましたことはまことに目出度く、ここに地元民、新屋敷東町内会を代表して衷心よりご祝辞を申し上げます。

塩竈神社は氏神さまとして「祭神は塩土老翁（シオツチノオキナノミコト）、この地旧武村の内なりしを分かちて塩屋村とす。寛永五年（一六二八年）建立なりという（途中略）。この里の海浜すべて塩田に

近年、平成十四年に神社本殿並びに社務所などの造営が神社関係者のご努力並びに地元住民のご協力によつて執り行われ、残すは鳥居建立であったわけでありますので、このたびの鳥居建立は、もつて時期を得た出来事であったと申せましょう。このたびの鳥居建立が、これから氏神さま塩竈神社のシンボルとして地域に輝きを放ちながら、塩竈神社参拝の折にくぐり通る参道の門として末永く地元住民の心の拠り所でありますようにお祈り申し上げ祝辞といたします。

責任役員挨拶

堀切税理士事務所所長

堀切 潤一郎

この度は、鳥居建立奉告祭及び祝賀会にお呼びいただき誠にありがとうございます。うございませす。

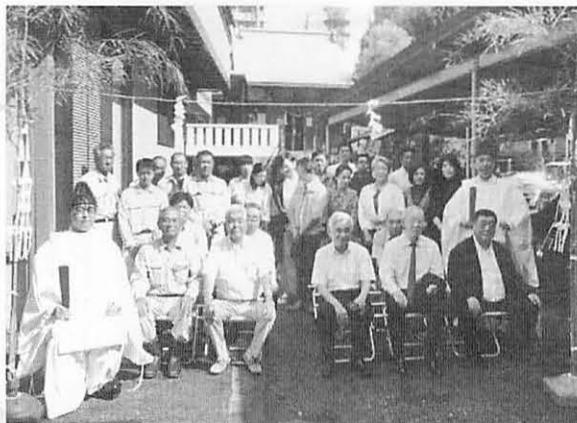
今から十三年前、塩竈神社の旧社殿は、老朽化しており、参拝者も少なかったでした。

平成十四年六月二十三日に地鎮祭を執り行い、十二月八日に竣功奉告祭が行われ立派な神社が完成致しました。

節分、六月燈、秋祭りなど催しが行われ、たくさんの方々が参加され賑やかに参拝者の方々が増えました。

あれから十三年、皆様のご協力、ご家族の頑張りで念願となる鳥居が無事完成し、心よりとてもうれしい気持ちで一杯です。

初詣には、新しい鳥居で参拝者を迎える事と思ひます。



鳥居工事前の安全祈願祭（8月19日）

これからも百年先子々孫々に引き継がれていくことでしょう。

責任役員挨拶

塩竈神社新鳥居の完成を祝う



に湛えません。

地元には神社があるということはそのれ自体地域の古い永い歴史を感じさせます。新興団地の町並みは、整然とし新しいデザインの家が並んでいますが、残念ながら神社はありません。塩竈神社はその横を清滝川が流れ公園もあり、自然環境にも恵まれ住民の憩いの場にもなっています。このような静かな佇まいは団地住まいでは望みよしの無い事です。

塩竈さんは平成十四年暮、念願の社殿復興がなされ早十三年たちます。旧社殿に既存の木造鳥居があり、新社殿が出来てつきり引き続き使われていたものと思っております。

新社殿造営の折、これは撤去されてこれまで鳥居無しであったことは迂闊にも気がつきませんでした。なにはともあれ、このたびのご好意により新鳥居の建設がなされたということは大変ありがたいことで、慶賀

山下司法書士事務所所長

山下政廣

町内会長さんは坂元せいいちろう元市議さんだったように思います。

旧塩屋町は天文館に近い下町で多くの人口があり、活気ある住宅商業地で塩竈さんは多くの崇敬者を集めていましたが、一時期神主不在の時期があり維持管理が疎かになり住民は寂しい思いをされたことでしょう。それが社殿ができ見事に復活しこの度鳥居の完成で更に崇敬者、地元の人たちの期待に応えることとなるでしょう。

私は塩竈さんのすぐ近くで生まれ育ちました。小学校入学時に町内会の行事で祝ってもらった想い出があります。境内の中に国旗掲揚台がありましたその横に整列し歌を歌い、お祝いの紅白の国旗をかたどったカダガシをもらいました。そのときの人々は神社に参り神に感謝し幸福を願います。人生の節目節目、子供の誕生から七五三、成人式、地鎮祭などでお参りします。このように成長の過程で祝う様々な行事を通して神社は住民にとり思い出の、記念の

場になります。地元に着し新屋敷町の住民により親しまれる塩竈さんになられることを願っています。

平成二十七年十月八日



鳥居建立祝賀会 (10月17日)

塩竈会会長挨拶



この度、地元地域の身近な心の拠り所となります塩竈神社に念願でありました鳥居が建立されました事、誠にめでたく、心からお祝い申し上げます。鳥居の格調高い佇まいは、神社の立派なシンボルとなり私自身、とても嬉しく思います。

塩竈神社は今から約四百年前の寛永五（一六二八）年に創建され旧塩屋町の海浜がその昔、全て塩田でこれを生業とした人々の産土神として崇敬を受けた由緒ある神社です。

私は幼少期、神社横の塩竈公園で



平成27年元旦 年越祭を終え参集所にて 塩竈会メンバー

野球、鬼ごっこ、缶蹴りなどをよくしました。滑り台やブランコも楽しみました。日暮れまで友達と元気に遊んだ事を懐かしく思い出します。それから時代が移り私に運命的な

出来事が待っていました。平成十六年の大晦日、私は塩竈神社青年会の一員として初詣に来られる方々に豚汁やぜんざいを振舞う係をしていました。その時、参拝者として訪れた妻と出逢ったのです。まさに氏神様の思し召しにより結婚する事ができました。塩竈神社は縁結びの神社という事が実証されたのです。今年結婚十周年を迎えました。娘、息子を授かり、おかげ様で平穩に過ごせています。

こうして私は生まれてから今日まで日々無事に生活できている事を神々様に感謝しております。神社は祖先から私たちが受け継ぎ、子孫へと伝えていく心の懸け橋です。日本古来の伝統文化を次世代へ引き継いでいくことが大切だと思います。

今般の鳥居建立を機に塩竈神社

(株)カワノ建材社長

川野友三

が、益々ご繁栄されますことを心より祈念いたします。地元地域の氏子の皆様におかれましては、ご健勝、ご多幸をお祈りしますとともに、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。



夏祭り六月燈風景

船魂会会長挨拶

船魂神社 鳥居額束の奉納によせて

(株)積善社社長

川田代 泰和



新たに額束を奉納いただいた船魂神社鳥居

第六十二回伊勢神宮式年遷宮記念事業の一環と致しまして昨年は、船魂神社ご拝殿の改築工事が行われました。これまでの拝殿は板の間に赤いカーペットが敷かれ、坐礼（正座）して参拝しておりましたが、その床を落としたりタイルにした事で土足にて拝殿に進み、お参り出来るようになりました。

この度、船魂神社鳥居には額束を、又塩竈神社には地元新屋敷地区の皆様のご念願でありました大鳥居がこの良き日に、肥後産業株式会社会長肥後忍様、同社長肥後貴哉様のお蔭を持ちまして建立賜りました事を心よりお礼申し上げます。塩竈神社は古来、甲突川の下流、当時御船手のあった天保山河口（船魂神社）より旧塩屋町（塩竈神社）一帯にかけて製塩事業や漁業が盛ん

に行われて居た時代に第十九代藩主鳥津光久公が船魂廟を勧請され、それぞれ地方開拓の祖神として官民の信仰が厚かった為、物事のはじめに災害を祓い「万時最も尊い方向へ導き給う」とされ、今も交通・航海・安産・建築・土木・農事業・水産業・開業・開運の神様として広く崇敬を受ける由緒深い神社です。

この船魂・塩竈神社を宮司として守り続ける宮田一男様をはじめご家族職員の皆様としても、鳥居建立により一層のお力になると存じます。

今後、正月行事や例祭、夏祭り六月灯等の行事、会社団体の祓事等々、この塩竈さまが更にご縁のあった皆様に愛される神社になる事を心より祈念いたしましてお祝いの挨拶いたします。



船魂神社 拝殿改築奉告祭(平成26年12月20日)

(これにて第六十二回式年遷宮記念事業としての船魂神社殿改修工事は完遂、諸祭・行事を執り収めました事を、慎んでご報告させていただきます)

工事施工代表挨拶

鳥居竣工に際して

吉留建設(株)代表

岩崎敏郎様



このたび、塩竈神社に無事に鳥居が建立しましたことに、感謝のご報告とともに、施工業者の立場から、想いを述べさせていただきます。

鳥居の建立にあたりましては、株式会社肥後産業様をはじめとする、沢山の方からの厚い信仰と奉賛の賜物によるものと存じますが、何よりも地域の方々の願いが実った結果でしょう。

今回、このような工事をお任せいただけただけことは大変光栄でしたが、

これまで経験のない仕事でしたので、試行錯誤の連続でした。恥ずかしながら、神社の建築については案内ですので、鳥居の高さや幅のバランス、額束の形状・・・様々な資料を読みながら勉強することから始まり、それと並行して、鳥居を製作していただける会社を探すのに奔走する日々が続きました。

何とか会社が決まり、四月からさっそく鳥居の設計がスタートしましたが、その会社が奈良県にありましたため、詳細の打ち合わせがなかなかできなかつたり、建築物の設計基準が鹿児島県と奈良県とは異なるので、その点の協議にも時間を要しました。

ようやく図面が完成し、それからも電話やEメールで数十回に及ぶ打合せや、確認事項のやり取りを重ね、

それを基に神社関係者各位との協議を行い、ついに納得のいくものが出来上がりましたが、まだ設置作業に取りかかることはできませんでした。

鹿児島市へ建築確認申請を行った際に、設置場所の地盤強度を調査するよう要求され、専門業者に依頼した結果、鳥居の荷重に地盤が耐えられるように、地盤改良を行って地盤を補強する必要があることが判明したのです。急ぎ段取りをつけ、この作業を行いました。

七月下旬、完成した鳥居が鹿児島に運ばれてきたときには、その大きさに驚いたものです。

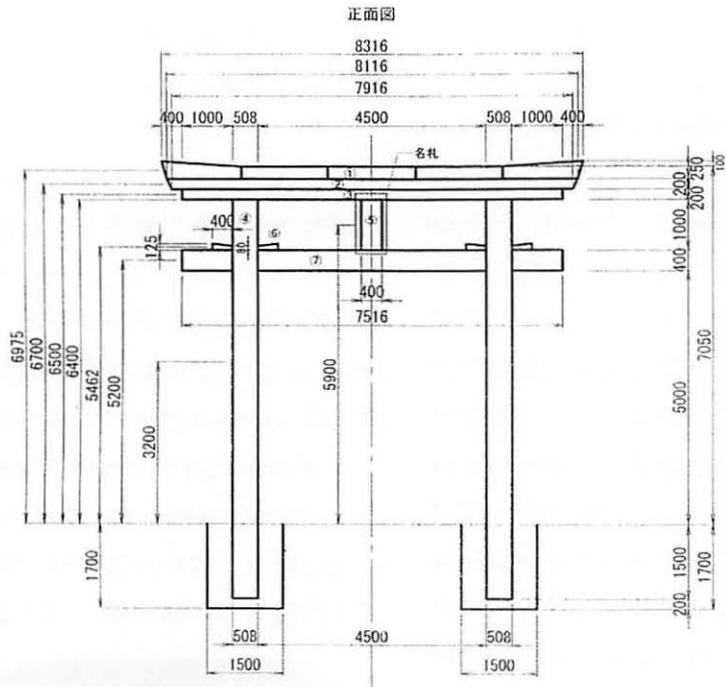
これらの作業が全て終わったところで、いよいよ鳥居の建立作業は本番です。

八月十九日の午前中に安全祈願祭

が執り行われ、工事の安全と竣工の無事を祈願しまして、その日の午後からいよいよ工事が始まりまして。建立の作業におきましては、道路が狭く作業条件が厳しかったのですが、地域の方々のご理解、ご協力もありまして、事故なく作業を終えることができました。

社員の心をひとつとして竣工した、夏の青空に映える白い鳥居を見上げたときは感無量でした。

お話を伺いますと、塩竈神社は塩竈明神とも呼ばれ、かつて塩づくりを生業とする人の多かったこの地域では昔から信仰が厚かったとのこと、これからも地域の方々に親しまれ、また心の拠り所として、社頭がますますご隆盛されますことを祈念申し上げます。



姿図 S=1/100

600

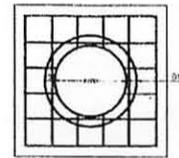
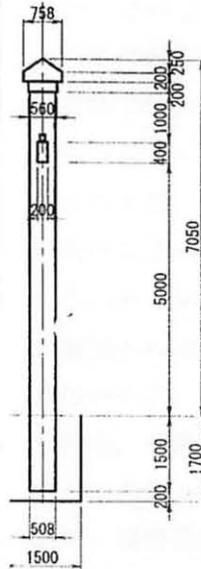
塩竈神社

1,200

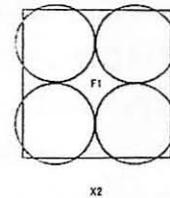
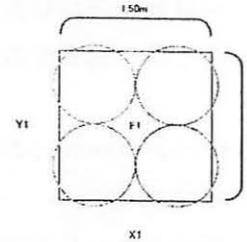
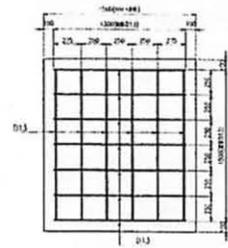
名札 S=1/50

コンクリート巻き立て
基礎のコンクリート設計基準強度 18N/cm²
鉄筋コンクリートの単位体積重量 24.0kN/m³

側面図



基礎配筋図 S=1/50



設計基準強度: Fc=600kN/m²

基礎	改良径 (mm)	本数	箇所数	空室長 (m)	改良長 (m)	改良径 (mm)	合計
F1	φ800	4	2	1.70	1.55	φ800	8
							総本数 8

独立基礎配置模式図 S=1/100

MEMO

PRAIIE

PROJECT NO.
1508

PROJECT
(仮称) 塩竈神社鳥居 新築工事

最大変位 1級鋼筋土 187409号 標準 0.7
資料番号 1級鋼筋土専用 1.23-B4
制作グループ 塩竈 PRAIIE GROUP
建設現場事務所 丁田16-27 HSDビル TEL:099-295-8500 FAX:099-295-8501

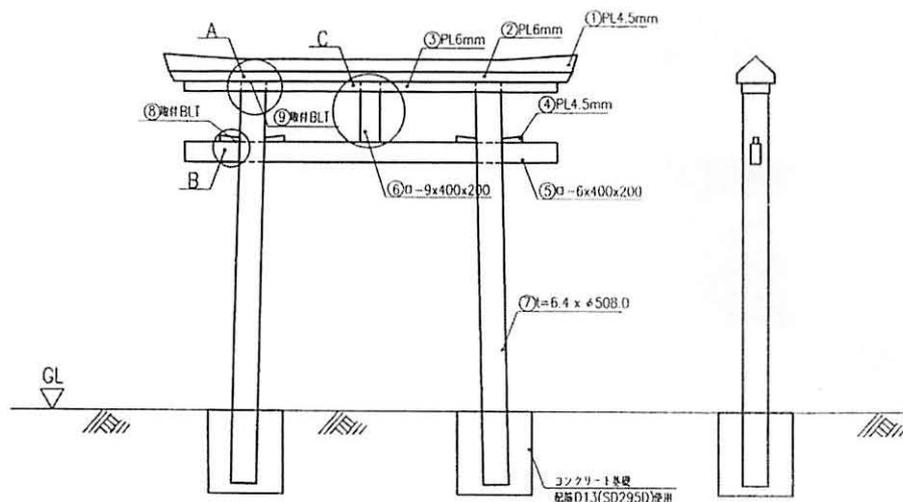
NO.
S-1

DATE
2015.06

SUBJECT
姿図・基礎配筋図

SCALE
1/100, 1/50

明神鳥居 部材詳細



番号	名称	使用部材	規格	数量
①	笠木	PL4.5mm	SS400	1
②	笠木	PL6mm	SS400	1
③	鳥木	PL6mm	SS400	1
④	くさび	PL4.5mm	SS400	4
⑤	貫	□-6x400x200	STKR400	1
⑥	額束	□-9x400x200	STKR400	1
⑦	柱	t=6.4 x φ508.0	STK400	2
⑧	取付ボルト	M16x50BLT,N	SS400	4
⑨	取付ボルト	M20x50BLT,N	SS400	12
⑩	皿ボルト	M16x30BLT,N	SS400	4

※部材はすべて溶融亜鉛メッキ処理
(ただし配筋D13のみ生地)

緒平工業株式会社 U09300



基礎工事 (平成27年7月9日)



基礎工事 (平成27年7月14日)



鳥居建立作業風景 (平成27年8月19日)

秋季例祭・鳥居建立奉告祭

日時 十月十七日(土・先勝) 午後四時齋行

衣冠 齋主・祭員：正服
神饌 六台 御食・御酒・海魚・海菜・野菜・果物・菓子・塩・水

齋主 宮司 宮田 一男
祭員 權禰 宜宮 田昇 典儀 龍笛・神樂笛
伶人 三船神社宮司 立元 光太郎
午後二時 諸準備

式次第
一、着装
一、参進
一、号鼓
一、修祓之儀
一、齋主一拝
一、御扉開扉
一、献饌
一、祝詞奏上
一、齋主玉串奉奠
祭員座後列拝 伶人自座列拝

午後三時十五分

定刻
此ノ間奏楽・警蹕
此ノ間奏楽

一、参列者玉串奉奠 此ノ間奏楽(里神楽)
参列者左記の順ニテ拝礼ス

塩竈神社責任役員 増田 敏雄殿
鳥居寄贈者 肥後 忍殿
備肥後産業会長 堀切潤一郎殿
塩竈神社責任役員 山下 政廣殿
吉留建設神社社長 岩崎 敏郎殿
鹿兒島県神社庁鹿兒島支部支部長 山下 丈夫殿
建部神社宮司 田原成一郎殿
鹿兒島県神社庁鹿兒島支部副支部長 折田 康孝殿
照國神社權宜 同神社權宜 坂上 和泉殿
鹿兒島神社宮司 岩切祐次郎殿
鹿兒島神社宮司 山下 剛殿
鴨池日枝神社權宜 國生 護久殿
船魂神社鳥居額束筆奉納 上野 達朗殿
城南町内会会長 萩原 常二殿
飯山 登殿
南林寺町内会会長 原口 政雄殿
大國宮教会 木之下悦夫殿



塩竈会代表
船魂会代表

乃木静子奉賛会代表

一、撤饌之儀
一、齋主一拝
一、退鼓
一、報下

此ノ間奏楽

鳥居前移動

神舞奉納
テーブカット

記念撮影

祝賀会会場移動

御奉納

清酒一本 備肥後産業会長 肥後 忍殿
焼酎二本 備肥後産業社長 堀切潤一郎殿
清酒一本 吉留建設神社社長 山下 政廣殿
焼酎二本 鹿兒島県神社庁鹿兒島支部支部長 山下 丈夫殿
焼酎一本 建部神社 田原成一郎殿
十四代沈壽官作一輪挿 折田 康孝殿
磯御庭窓花瓶 同神社權宜 坂上 和泉殿
菓子折 照國神社 岩切祐次郎殿
菓子折 縣護國神社 山下 剛殿
清酒一本 鷹屋神社 國生 護久殿
脱穀米三十K フラワーショップ 上野 達朗殿
胡蝶蘭大輪三本立 原口 政雄殿
焼酎三本 原口 政雄殿
名古屋味噌 古城ミツエ殿
焼酎一本 古城ミツエ殿

劍の舞 鹿兒島神社山下宮司様
備肥後産業会長・宮司・新屋敷東町内会会長
午後四時五十分



鳥居建立祝賀会

会次第

日時 十月十七日(土)午後五時半
場所 新屋敷東公民館

進行 塩竈神社禰宜 宮田 昇

一、開会の辞

塩竈神社責任役員 堀切潤一郎

一、謝辞

塩竈神社代表役員宮司 宮田 一男

一、挨拶

塩竈神社責任役員 増田 敏雄
新屋敷東町内会会長

一、神社関係者代表挨拶

鹿兒島県神社庁鹿兒島支部支部長 山下 丈夫 様
建部神社宮司

一、感謝状・記念品授与

塩竈神社鳥居 肥後忍殿
船魂塩竈両社額東御寄贈 萩原常二殿
船魂鳥居額東筆耕 岩崎敏郎殿
鳥居施工 吉留建設(株) 岩崎敏郎殿

(尚、塩竈額東筆耕の新留孝志氏、多額寄付者宮内技工様は当日欠席につき後日授与す)

一、寄贈者様挨拶

御来賓 榑肥後産業会長 肥後 忍 様

一、施工者挨拶

吉留建設(株)社長 岩崎 敏郎 様

一、乾杯

塩竈神社責任役員 山下 政廣

一、祝宴

直会

一、万歳三唱

鹿兒島市議会議員 佐藤 高広
塩竈会

一、閉会の辞

塩竈会会長 川野 友三

一、同祝賀会出席者

榑肥後産業会長 肥後 忍
岩崎 敏郎
萩原 常二
吉留建設(株)

建部神社宮司 山下 丈夫
照國神社権禰宜 折田 康孝
縣護國神社権禰宜 坂上 和泉
一之宮神社宮司 山下 剛
鹿兒島神社宮司 國生 護久
鴨池日枝神社権禰宜 上野 達朗
月讀神社宮司 立元 光太郎
三船神社宮司 増田 敏雄
塩竈神社責任役員 山下 政廣
塩竈神社責任役員 堀切潤一郎
塩竈神社責任役員 千賀子

堀切 祐司
佐藤 高広
原口 政雄
飯山 登
小島 和彦
松小 見三
山正 一
畑 耕一
福崎 昭一郎
増田 紀一
堀内 妙子
堀留 光三
内田 久美子
村野 友三
西野 賢一
久保 仁人
宮田 一男
宮田 寿恵子
宮田 昇
宮田 千穂
美弥子

鹿兒島市議会議員 佐藤 高広
南林寺町内会会長 原口 政雄
城南町内会会長 飯山 登
新屋敷町内会会長 小島 和彦
新屋敷東町内会 松小 見三
新屋敷東町内会 山正 一
新屋敷東町内会 畑 耕一
新屋敷東町内会 福崎 昭一郎
新屋敷東町内会 増田 紀一
新屋敷東町内会 堀内 妙子
新屋敷東町内会 堀留 光三
新屋敷東町内会 内田 久美子
塩竈会 村野 友三
塩竈会 西野 賢一
船魂会 久保 仁人
船魂会 宮田 一男
塩竈神社宮司 宮田 寿恵子
塩竈神社禰宜 宮田 昇
塩竈神社権禰宜 宮田 千穂
美弥子

一、ご協力

小田豊商会
春本旅館
記録撮影 NANAUMI 折田直貴
記録撮影 宮田美寿穂・龍弥



ご奉納者

奉納

塩竈神社鳥居 一基
船魂・塩竈神社額束 二幅

鹿児島市谷山港三丁目四番十三号

株式会社肥後産業会長 肥後 忍
同 社長 肥後 貴哉

平成二七年度塩竈神社事業御寄付者名

同年十一月三十日現在（順不同 敬称略）

一金壹拾萬圓 (有)宮内技工・責任役員増田敏雄

一金六萬圓 山下司法書士事務所 責任役員山下政廣

一金伍萬圓 (有)樋口牧場・春本旅館・船魂会・宮田昇

一金参萬圓 新屋敷東町内会・塩屋水神社・堀切税理士事務所 責任役員堀切潤一郎

築瀬恵瑠・第一海運(株)積善社・平原 成・米原由美子・篠原和幸

一金壹萬圓 宮原清澄・ブルーキャメル宮原聡伺(株)ビッグファイブ(有)川原精肉店・島 広次

ほりきり整骨院・押井会計事務所(有)広和印刷・村田城有・松下晃三・小山正一

木之下悦夫・内田久美子・カワノ建材・吉留建設(株)岩崎敏郎・萩原常二

薩摩黒鮪いっぼん・東 繁・今村義三郎・神野商事(株)森山正子・お仏壇の久保(仁)

大山スミ子・菘田駐車場・石川末子(株)鹿児島消防防災・森山正子・お仏壇の久保(仁)

兒玉秀郷・岩切信一郎・大城喜久子・ヒロミ鍼灸病院・福崎昭一郎

池松こんにやく店・佐藤高広・村野国範・比良建築設計事務所・長谷川喜代子 喜一

酒匂和枝・ヤマキミツコ・幾村清徳 雪江・原口政雄・飯山登・小島和彦

一金参仟圓 古城ミツエ

照國神社・鹿児島県護國神社・建部神社・松原神社・一之宮神社・鹿児島神社
月讀神社宮・日枝鴨池山王神社・宮崎県高千穂神社・三船神社・船魂神社

平成二七年度 秋季例祭ご寄付者名

(順不同 敬称略)

一金壹萬圓 三好産業(株) (有)宮内技工・(有)樋口牧場

一金伍仟圓 (株)積善社・北村保険労務士事務所・大

千産業・三ツ矢ハウス・米原由美子・

(株)鹿児島銀行中央市場支店

一金参仟圓 増田齒科医院・漢方のオリーブ堂・マ

ルヤ水産・二葉園保育所・はやしかわ

齒科・木之下悦夫・お仏壇の久保(仁)・

(株)竹添不動産・上山建設(株)・鹿児島市

漁業協同組合(有)上村モータース商会

一金式仟圓 (株)仏壇の古屋舗南林寺店・南栄電機(株)

一金壹仟圓 (株)牛一・大森齒科医院・ちよきちよき・

大山健三・ココストア新屋敷店・わら

じや・鹿児島スタンプ・南日本新聞城

南販売所・山ノ内・久米田

奉 献 (株)肥後産業 焼酎三本(有)樋口牧場

精米三十k



塩竈神社鳥居建立記念誌

